

竹敷の浦に舟泊まりする時に、
各心緒を

陳べて作る歌十八首

三七〇〇番

あしひきの 山下光る もみち葉の 散りのまが
ひは 今日にもあるかも

三七〇一番

竹敷の 黄葉を見れば 我妹子が 待たむと言ひ
し 時そ来にける

三七〇二番

竹敷の 浦廻の黄葉 我行きて 帰り来るまで
散りこすなゆめ

三七〇三番

竹敷の 宇敷可多山は 紅の 八入の色にな
りにけるかも